

百姓から武士へ

三田三五郎出世すごろく

行田市郷土博物館

あがり

文政7年(1824)

—72歳—

病氣のため
剣術指南役を退く
これまでの頑張り
認められ金200疋を
いただく

白河



殿さまに付き従い
ふるさとの忍を
離れ白河へ

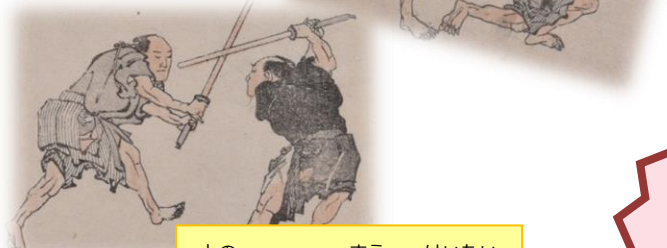
くにが 国替え

文政6年(1823)
—71歳—

忍藩主阿部正権が白河
(今の福島県白河市)へ
国替えとなる
引越しの準備で
1回休み

どの 殿さまの前で敗退

忍藩主の御前試合
で同門の秋山要助
と対戦し敗れる
ショックで
1回休み



めんきょかいでん 免許皆伝

神道無念流の
免許皆伝となり
門弟の指導も
許される

技や心得のすべてを修得
したと、師匠が認めた者だ
けがもらえる特別な資格。

上野国(今の
群馬県)高崎で
道場を開き門弟が
数百人に増える



新しい木刀を調達
テンションが上がり
稽古に力が入る
1コマすすむ



寛政10年(1798)
—46歳—

門弟の大原伝七郎が
1年間、西日本方面に
修行の旅に出る



三五郎の剣術の
実力は忍藩主阿部
正由にも知られる
ようになる

西日本での修行中、対戦した
相手の名前、場所、流派、特徴
などを書きとめたもの。

にゅうもん 入門

神道無念流
戸賀崎暉芳に入門し
修行に専念する
1回休み



神道無念流
(しんとうむねりゅう)
と早口で3回言ってみよう!
うまく言えたら
2コマすすむ

けいこ 稽古をはじめ

持田村で竹刀による
打ち込み稽古を
はじめる

ひたすら稽古に
励み技をみがく

ひやくしやう 百姓から武士に

寛政11年(1799)
—47歳—

忍藩主阿部正由に剣術
指南役(剣術の先生)と
して召しかかえられる
おめでたいので
2コマすすむ

享和3年(1803)
—51歳—

ますます剣術指南
にはげみ忍城二の
丸番を命じられる

どの
殿さまの御殿があ
る二の丸を守る大
切な役目。

ふりだし

宝暦2年(1752)

持田村の百姓三田家
に生まれる



行田